



平成7年1月 兵庫県南部地震

災害に強いまちを目指して

総合防災訓練に参加しましょう

旧1市6町では、昭和53年の宮城県沖地震を教訓として、6月12日の『県民防災の日』などに、毎年総合防災訓練を行ってきましたが、平成17年度もそれぞれの地域において、左記の開催場所案内のとおり実施します。

一昨年の宮城県北部連続地震や昨年の新潟県中越地震、今年の福岡県西方沖地震と、予想がされていない地域においても大地震が発生しています。

宮城県沖地震は、20年以内に約9割の確率で発生すると予測されていることから、いざというときに備えて、総合防災訓練や地域で行う自主防災訓練に進んで参加しましょう。



家庭での防災訓練

サイレンを合図に、皆さんの家庭でも次の訓練を行ってみましょう。

すばやく火の始末

恐ろしいのは、地震の後の火災です。使っている火を落ちついて、すばやく消すことが大切です。

日ごろから小さな地震でも火を消す習慣を身につけましょう。

身の安全確保

地震のときには、頭上からの落下物や家具の転倒などから身を守ることも大切です。座布団やクッションで頭を保護し、机やテーブルなどの頑丈な家具の下に身をひそめます。

避難の行動

避難は徒歩で、持ち物は最小限にします。隣近所で助け合い、特に病人や乳幼児、老人などを優先し、津波の場合は高台まで避難しましょう。日ごろから、避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

また、うわさやデマにまどわされずに、正しい情報を得て避難することも重要です。



昨年の石巻地区総合防災訓練

総合防災訓練開催場所案内

雄勝地域

と き：6月12日(日) 午前7時～
 会 場：雄勝総合支所管内全域
 訓練重点地区：立・大浜地区
 【地震・津波を想定した訓練】

※訓練当日の午前7時に地震発生、7時03分に津波警報のサイレンを鳴らします。

河南地域

と き：7月24日(日)

河南地域では、平成15年の宮城県連続地震の被災体験を長く記憶にとどめ、防災意識を持ち続けるため、7月26日を『河南町防災の日』として制定しましたが、今年は7月24日に行います。

なお、詳細につきましては、市報7月号に掲載を予定しています。

桃生地域

と き：6月12日(日) 午前9時30分～
 会 場：桃生総合支所管内全域

大規模地震災害発生時の初動体制確立のため、現地災害対策本部設置運用訓練・情報収集伝達訓練・広報訓練などを防災関係機関などおよび地域住民参加のもと実施します。

※訓練当日の午前9時30分に地震発生のサイレンを鳴らします。

牡鹿地域

と き：6月5日(日) 午前9時～
 会 場：牡鹿総合支所管内全域
 【地震・津波を想定した住民避難訓練・情報伝達訓練 広報訓練など】

※訓練当日の午前9時、津波警報のサイレンを鳴らします。

本庁地域

と き：6月15日(水)午前9時30分～
 主会場：渡波地区(万石浦中学校)
 【地震・津波を想定した訓練】
 ※荻浜地区でも、津波を想定した訓練を実施します。
 ※訓練当日の午前9時30分に地震発生、9時35分に津波警報のサイレンを鳴らします。



河北地域

と き：6月12日(日) 午前9時30分～
 主会場：飯野川地区(飯野川第二小学校)
 【大地震を想定した訓練】

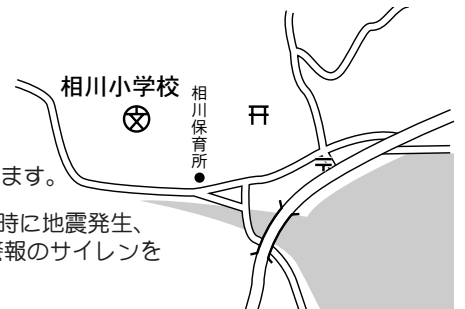


北上地域

と き：6月5日(日) 午前9時～
 主会場：相川地区(相川小学校)
 【地震・津波を想定した訓練】

※月浜地区から小滝地区までは、津波を想定した避難訓練も実施します。

※訓練当日の午前9時に地震発生、9時05分に津波警報のサイレンを鳴らします。



防災マップで心の準備

渡波地区区長行政衛生連合会長

遠山 祐亨さん

宮城県沖地震に備えるため、昨年9月、渡波地区の区長を中心に「渡波地区防災マップ」を作りました。チリ地震津波を経験した区長さんが、近い将来に高い確率で起こる地震や津波に対して、地区住民に意識の高揚と日ごろの準備をしてもらおうとマップ作りを始めました。

平成15年の宮城県北部連続地震の直後から毎月チラシを各戸に配布して災害の意識をもってもらったことから始め、区長さん方には避難場所の確認や浸水予測地区の調査を行っていただきました。

チラシやマップを見て、一人ひとりが防災意識を高め、また家庭で役割分担を話し合ってもらえば幸いです。災害に強い街は、多くの市民が防災意識と心の準備を持つことだと思います。

